

優良図書等の推奨事務に係る事務取扱要領及び審査基準の 一部改正等について

令和 7 年 1 1 月 1 3 日
次世代・女性活躍支援課

1. 改正の経緯

令和 6 年度に特定の出版社から複数の推薦申出があり、その全てが当該出版社から出版されている書籍の推薦であった。

また、審議した書籍の中には、推奨の対象外となる実用書に該当するとして、推奨しないと決議した書籍があった。

これを受けて、部会では「特定の出版社や著者の書籍ばかりが推奨となった場合、宣伝を目的とした推奨と捉えられる可能性がある」、「推奨の対象外となる実用書等に該当するかどうかの判断は、審議会事務局で推薦申出を受理した時点で判断するのがよいのではないか」という趣旨の意見があった。

以上のことから、推奨の対象外となるものの規定等について見直しを行った。

2. 改正内容

- ・ 推奨の対象外となるものとして、「特定の人物又は企業の利益のための宣伝を意図したもの」を追加。
- ・ 推薦申出のあった図書等が推奨の対象外に該当するかどうかを、審議会事務局において判断するため、推奨の対象外に関する規定を審査基準から事務取扱要領へ移行。
- ・ 推薦申出書様式に、推奨の対象外となるものに関する留意事項を追加。
- ・ 「特定の人物または企業の利益のための宣伝を意図したもの」の判断基準に関する内規を新たに作成。

3. 改正日

令和 7 年 4 月 1 日